



がれき処理を検討している(市清掃センター)

Q 県は、沿岸部の津波で発生したがれきの処理計画を示しており、県外での広域処理と県内の既



高橋 憲一 議員 (花巻クラブ)

がれき焼却の取り組み方針は 本市としては受け入れる方針

存施設の活用を基本に据えている。本市としても、被災地支援として積極的に受け入れを進めるべきだ。本市でのがれき焼却処理の取り組み方針を伺う。また、放射線量の測定などの安全対策、処理施設周辺住民に対する説明会開催についても併せて

A(市長) 県の処理計画策定に当たり、本市では1日10トンの受け入れが可能と報告した。これを受けた県の計画において、本市は釜石市の災害廃棄物を受け入れる計画となっている。また、放射線量の測定は、釜石市が搬

出時に行うものに加え、本市も搬入時に独自に実施していく。なお、発生する焼却灰については、本市の埋め立て処分量に余裕がなく、搬入量に見合う量を釜石市に搬出していく。今後、釜石市と搬入時期や具体的な手法を詰めていく中で、清掃センターや最終処分場周辺地域の皆様に詳細について説明し、理解を得たうえで適正な処理を行っていきたいと考えている。

Q 年2回、市の広報紙や回覧等で案内され、27振興センターを回り市政懇談会が開催されている。



高橋 淑郎 議員 (花巻クラブ)

花巻市の予算、事業の説明、政策提言などを中心に意見交換がなされているが、参加者が少ない現状である。市民にとって唯一の情報交換の場であり、今後もぜひ続けてほしいと思っている。平成22年度、23年度の参加人数はどうなっているの

か。また、今後、参加人数を増やす工夫を考えているのか伺う。
A(政策推進部長) 市政懇談会における参加者数は、平成22年度の春は533人、秋は578人で合計1111人、平成23年度の7月は727人、秋は512人で合計12



年2回開催されている市政懇談会

市政懇談会の市民の参加意識は 地域テーマ提案や時期を検討

39人である。懇談会開催に当たり、市政全般にわたり意見、提言を受け取ることになっているが、事前に地域からテーマを提案してもらったりことや開催時期についても検討したいと考えている。また、市と行政区長会の共催で開催しているが、各種団体にも呼び掛けながら、多くの市民参加を得るよう工夫していきたい。



TPPによる農業への影響が懸念される

Q TPP参加の場合、農水省は農林水産物の生産減少額45兆円、米は新潟産と有機栽培米が残る



阿部 一男 議員 (平和環境社民クラブ)

TPPによる花巻市への影響は 今後の交渉の行方を注視

A(総務部長、健康こども部長) TPP参加による影響は考えられるが、

Q 集落営農と森林計画 集落営農組織の経営

A(市長、農林水産部長) 現段階では具体的内容が示されておらず、本市農業への影響や医療と国民健康保険、入札への海外資本参入などの分析は難しい。今後、国の動向や交渉の行方を注視していく。



照井 雄一 議員 (明和会)

定住交流人口増大の課題と展望 観光とスポーツで交流人口増大

Q 都市の人口推移は街の盛衰や各種計画遂行に大きな影響を及ぼすが、本市の現状は平成17年以

降、減少に歯止めがかかっていない。この状況をどうとらえ、いかなる対策を講じる考えか伺う。
A(商工観光部長) 人口の自然増減は減少したが、社会減少は市の取り組みが一定効果を上げ、歯止めがかかっていると認識している。人口増には、ま

Q 住みよいまちづくり

ず、交流人口の増加を図ることであり、花巻の強みである高速交通の拠点性と恵まれた資源活用で「観光とスポーツでまちづくり」を推進していきたい。
A(市長) 現在、まちは市街地の拡大で職と住が分離している。中心市街地はインフラが進んでおり、良好な住環境整備も一つの方向性である。今後も商店街の方々の考えを支援していく。



総合体育館アネックスでの開館行事